

か が や く 須 原

須原コミュニティ協議会

Vol.
272024
3.25発行

第4次須原地域振興計画スタート

須原コミュニティ協議会 会長 上村重信

日頃より、須原コミュニティ協議会へご理解とご協力を頂きありがとうございます。今年度は「かがやく須原！子どもも！大人も！活き活きと！」を理念に掲げ、第4次須原地域振興計画がスタートしました。これまで「元気ほくぶ！大運動会」「守門宝めぐり」「目黒邸雪灯籠」など色々なイベントに取り組んできました。

近年災害が多く発生していることを踏まえ、今年度は、魚沼市防災安全課やNPO法人うおぬま防災ネットワーク、魚沼市消防署北部分署の方々をお招きして、救急法(心肺蘇生法)・段ボールベッドの組み立て体験などの防災講座を、各集落(今年度は須川・西村・宮原・大谷内・赤土)で行ってきました。

今後の課題として、過疎化・少子高齢化・核家族化など人口構成の変化や就業構造の変化により、人と人とのつながりが希薄になり、一人ひとりが孤立しやすい状況になってきていることが挙げられます。須原コミュニティ協議会では、これからも地域課題を考え地域とのつながりを大切にして活動を行っていきます。今後とも地域の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



塞ノ神事業

2月9日 須原小学校グラウンド

伝統行事の継承事業として取り組んできた、須原小学校冬祭りの「塞ノ神」も、今年で12年目となりました。事前に、地域の皆さんからお手伝いに来ていただき、1・2年生が餅つき、3・4年生が西村お茶会の皆さんと飾り団子づくり、5・6年生が区長さん方と一緒に塞ノ神の櫓づくりをしました。今年は少雪でしたが、子ども達はチームに分かれて雪を高く積むゲームをしたり、塞ノ神では焼けた藁が高く上がり始めると、「舞い上がり！舞い上がり！」と声を出して盛り上がっていました。そして、火が落ち着いたところでお待ちかねの餅焼きの開始です。

「あっちはー！」と言って顔をしかめながら、竹棒の先に付いたお餅を真剣に焼いていました。お餅を焼くのはコツがいるもので、どうしても火に近づけてしまった子は、お餅がスズで真っ黒に…。すっかり手慣れた高学年は上手に焼いて、柔らかくのびるお餅を美味しいそうに食べていました。

子ども達にとって冬の楽しい思い出になったことだと思います。
ご指導いただいた地域の皆さん、ありがとうございました。



令和5年度 活動報告

防災講座の実施

世界中で、水害・地震・森林火災等の災害が多発しています。災害は突然起こるものであり、いざという時に地域住民が互いに助け合うことが大変重要となります。そこで、災害から身を守るために、防災に関する知識や体験が必要と考え、集落ごとに研修会を企画しました。暑い夏でしたが、須川区・西村区・宮原区・大谷内区・赤土区の5会場で開催し、約80名の参加がありました。開催にあたり、魚沼市防災安全課、NPO法人うおぬま防災ネットワーク、魚沼市消防署北部分署の方々からご協力いただき、防災についての講話と心肺蘇生やAEDの使い方、段ボールベッドの組み立て体験などを行いました。来年も実施いたしますので、是非ご参加ください。

来年度の実施日は
日程が決まり次第
お知らせします。



写真：大谷内区

AEDの使い方の説明と段ボールベッドの組み立ての様子

守門 宝めぐり

9月2日

国重文 目黒邸にておこなわれていた、壁の塗り替え・修復、母屋の差し茅現場（裏側の屋根）を見学させていただきました。修復には当時の材料や技法を使っておこない、実際に使う材料を見せてもらったり、作業途中の壁を見ながら工程の説明を聞きました。一番驚いたのが、橡亭(ちょてい)の床の間の壁に浮かぶ市松模様の黒い部分はバクテリアの作用を使って色を出していると推測されるというお話。当時の高い技術がここに表れているそうです。必要な材料を作るところから始まり、手間暇を惜しまず高い技術が集まって建てられた目黒邸は、まさに守門の宝だなあ～と実感しました。



元気ほくぶ！大運動会

10月15日

は、雨により中止でした…



前日準備のようす

佐藤季依(きい)さん作「みんなが主役！羽ばたけほくぶ！」のスローガンのもと、第11回 元気ほくぶ！大運動会の開催を予定していましたが、残念ながら雨のため中止となりました。ポスターは渡辺華菜(かな)さんの作品に決定。たくさんの方からスローガンのご応募をいただきありがとうございました。

商工祭 木工体験

11月29日



守門入広瀬商工会「商工祭」が行われ、須原コミ協は毎年行っている「木工教室」と、オリジナル缶バッヂ作りを開催しました。自分で書いた絵で缶バッヂを作ったり、割り箸で作ったゴム鉄砲で射的ゲームをして子ども達が楽しそうに遊んでいました。また、今まで集めたぬいぐるみを皆さんにプレゼントしたいとの申し出があり、会場にスペースを設け配布したところ、好評を得ました。このことから、フリーマーケットを開いてもよいのかなと感じました。

新設！世代間交流部会

各集落や須原地区全体の人口が減少しており、地域住民の皆さんのが安心して暮らせる地域するには、世代間交流の場が必要だと考え、イベントを通して各世代のコミュニケーションの場をつくるために、世代間交流部会を創設しました。



夏を楽しむイベント 元気すもん夏祭りの縁日ブース

8月6日に、目黒邸前の道路を歩行者天国として開放し夏祭りを行いました。このイベントには、商工会・元気すもん・またたびの家・玉川酒造㈱などからご協力いただき、イベントとして、「とよのみさこミニコンサート」と子どもたちのダンスパフォーマンスが行われ、守門地域内外から約400名の方にお越しいただきました。縁日ブースは、射的、スーパーボール・ヨーヨーすくい、かたぬきを行い、どのブースも大盛況で、子どもを中心楽しんでもらいました。シニア世代からは、「子どもたちの元気なダンスや若い人たちが頑張ってる姿を見てたら、こっちも元気になったてえ！」との感想をいただきました。



射的



スーパーボール・ヨーヨーすくい



子ども達によるダンスパフォーマンス

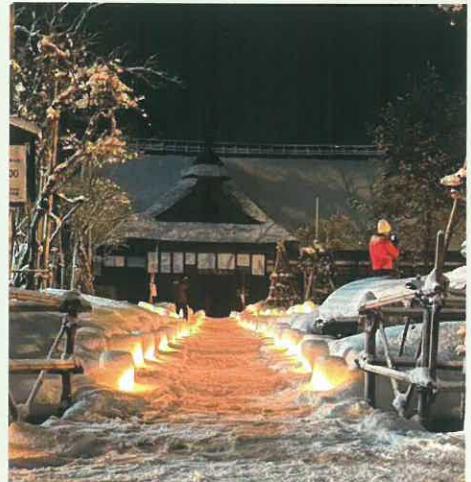
冬を楽しむイベント 須原スノーカーニバル 目黒邸雪灯籠

3月9日開催された「須原スノーカーニバル」にて、目黒邸雪灯籠、只見線応援雪灯りを実施しました。この冬は異常な少雪で冬のイベントの開催が危ぶまれましたが、3月上旬の降雪で行うことができました。目黒邸の雪灯籠は例年より少ない灯りでしたが、須原スキー場、目黒邸、越後須原駅周辺を、ろうそくの暖かい光が包んでくれました。目黒邸の田んぼには、魚沼市の市政施行20周年を記念して「20」の文字と花火を描きました。

また、今年は中越地震から20年、東日本大震災から13年が経ちます。そのような中、1月1日に能登半島地震が発生。1日も早い復旧・復興を願うばかりです。当日は、豚汁と熱燗のふるまいご来場の皆さんに暖まさせていただき、能登半島地震義援金の募金活動を行いました。大勢の方からご支援いただきありがとうございました。



魚沼市の市政施行20周年を記念して



須原高原公園 お花畠計画2年目！

須原スキー場山頂牧草地の畠約60アールに、令和4年度からお花畠作戦（コスモス畠）を展開し今年度も取り組んで来ました。7月上旬に約4アールの広さにコスモスの種をまき、10月中旬から11月上旬までキレイに咲いてくれました。また、9月中旬には約2アールの畠に菜の花の種をまき、雪解け後には「菜の花畠」になってくれることを期待しています。そして、他の畠は農耕舎が耕してソバの種をまき、9月中旬には真っ白なソバ畠となりました。来年度も「お花畠大作戦！」を行いますので、お手伝いいただける方は是非ご参加ください。須原地区の新しい名所に育てていきたいと思います。



須原の良さを中からも外からも！

魚沼市地域おこし協力隊 須原コミュニティ協議会担当 大滝 義隆

今年度は大学生の夏合宿やインターンシップの受入れを、須原地域で行わせていただきました。若者の視点やエネルギーが地域に入ってくることは嬉しいですね。来てくれた大学生からも、「空気もご飯もおいしくて、いいところですね！」「地域の人がやさしくて、ありがとうございます。」という声をいただき、お互いにWin-Winの関係性になれているように思いました。

また、秋には『雪国リトリート』も須原で行いました。地域のおかあさん、おとうさん方にもご協力いただき、郷土料理作りや雪囲いを、参加者に教えながら一緒にやっていただきました。リトリートは、普段の日常から離れ、こころとからだをリフレッシュする旅です。関東圏から来た参加者の皆さんには、須原の自然や食にも感動されましたが、「地域の方との交流が一番印象に残っています。」と話されていました。

自分の協力隊としての任期も次の11月までとなりました。外への発信や、外部の方の受入れも続けていきますが、残りの時間は、「聞き書き」という手法を学んで、地域の方の声や話を聞きながら、近現代の須原地域の歴史や文化をまとめて形として残していく作業をしていきたいなと思っています。みなさんにも「お話を聞かせてください！」とお声掛けするかもしれませんので、その時はしょうしがらずに、ご協力をよろしくお願ひします。

早稲田大学グリークラブの学生が合宿中にミニコンサートを開いてくれました♪



「雪国リトリート」にて
地域のみなさんと郷土料理づくり。



魚沼農耕舎と玉川酒造が、目白大学の学生インターンを受け入れてくれました！

